

はじめに

まず、本書「こんなふうには伝えました」に興味を持ち、手に取ってくださりありがとうございます。

AID(非配偶者間人工授精、本書では夫ではない第三者(ドナー)の精子を用いた生殖医療をさします)を選択し、生まれた子どもと向き合っていくには、成長に合わせて告知を繰り返し伝えていくことが何よりも大切なことと思います。

真実告知は、生まれてくる子どもに「家族みんなが待ち望んでいたこと」や「どれだけ愛しているか」を伝える絶好の機会です。「AIDという治療+感謝の気持ち」を伝えることで告知をする意義が本書を通して感じていただければ嬉しいです。

また、幼少期から告知をすると、親自身も真正面から子どもと接していく中で、親子関係の絆が深まる、というデータもあるように、いつでも子どもが質問しやすい雰囲気や環境の中でテーマにすることができます。

しかし、いざ子どもへ告知となると、表紙の吹き出しのような思いが湧き出たことはありませんか？それぞれの家庭環境や考え方、子どもの性格など伝え方は様々で、実際にどんな風に告知をしていけば良いのか等、改めて考えてしまいますよね。

本書にて、すまいる親の会(AIDの選択を検討している・AIDで親になった人の自助グループ)の当事者家族の体験談をいくつか紹介いたします。今告知と向き合っている方はもちろん、お子さんが読んだり、AIDを知らない人が読むことも想定して、マンガ形式で簡潔に描きました。

告知の際のイメージが湧き、皆さまの背中を押すことが出来れば幸いです。そして、共にいろんな家族の幸せを分かちあいましょう。

かおるん

もくじ 目次

はじめに 1

Part 1

まんが「かおるん家の初めての告知」 3

まんが「かおるん家のその後の告知」 6

かおるん夫婦の思い 9

Part 2

まんが「ちよこ家の初めての告知」 10

まんが「ちよこ家のその後の告知」 13

ちよこ夫婦の思い 16

Part 3

まんが「ともみ家の初めての告知」 17

まんが「ともみ家のその後の告知」 20

ともみ夫婦の思い 23

あるある！こんな時どうする？質問コーナー 24

引用元 30

MEMO 31

かおるん^け家
の
はじ^{はじ}こくち^{こくち}初めての告知

Part1 まんが「かおるん家の初めての告知」

